



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.67
2016年 2月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

乾季真っ只中

皆さんこんにちは。2月に入りカンボジアは朝の冷え込みが徐々に和らぎ、少しずつ日中の気温が上昇してきました。雨が全く降らないためレモングラス畑にポンプで水を撒き、乾燥に耐えられるよう株元にレモングラスの残渣を敷いて、土の中の水分が蒸発するのを防ぎます。農場にある貯め池の水位も日に日に低くなり、今では雨季の頃の半分ぐらいまで下がってしまいました。いつ降るかわからない雨を待ちのぞみながら今月の報告を行いたいと思います。

◇野菜ハウス→乾燥ハウスへ改装

ミニトマトやナスなどの野菜を栽培していたビニールハウスをレモングラス乾燥用へと改装しました。来年度はレモングラスの精油生産にさらに力を入れるため、雨季でも乾燥できるスペースを確保する必要がありますからです。もともとは12月にハウス用のビニールを発注し、作業をする予定だったのですが、ビニールがなかなか届かず、今月になってようやく着手できました。このハウスは野菜用で建てたため、中が水浸しにならないよう屋根にだけビニールをはっていました。その上から中の温度を下げるため遮光ネットをかぶせてあったので、遮光ネットを取り外しながらハウスの側面にビニールを張る必要があります。当初予定していた12月なら風も弱く作業も簡単だったのですが、2月は一年で一番風が強い時期です。日によって風向きも変わるため、作業前に風向きを確認し、ビニールが風で持っていかれないよう、風上側から2組に分かれて作業を開始しました。1組目はハウスの固定用ロープを解いて作業箇所を用意し、ビニールの取り付け後結びなおす組です。2組目が遮光ネットを取り外しながらビニールと入れ替えていく組です。2組がうまく連携しなければ風でビニールが破けてしまいます。ロープが風で絡る等のトラブルもありましたが無事改装出来ました。



ハウス側面のビニール取り付け作業



乾燥用ビニールハウスへ改装終了

◇レモングラス灌水継続

乾季に入ってからカンボジアではまとまった雨が降っていません。そのままの状態ではレモングラスが枯れてしまうため、灌水を定期的に行うことで枯れるのを防いでいます。現在2台のポンプが農場にはあり、溜池から水をくみ上げて1日に約30aの畑に灌水出来ます。1週間に1度のペースで灌水が必要なので、管理ができるのは約2ha分の畑だけです。池に近く状態のよい畑を選んで管理しています。溜池の水には限度があるため、これ以上ポンプの台数を増やして管理面積を広げるのは難しいです。灌水には水が出るための小さな穴の開いた塩ビ管をつかって行います。穴は塩ビ管に75cmごとに開いており、50cmごとに植えてあるレモングラスへ均等に水が撒けるようにしています。午前と午後で約4時間ずつ場所を変えて灌水を行っています。スタッフたちと一緒に塩ビ管やポンプを移動し灌水を行う作業は思ったよりも大変ですが、乾季の間レモングラスを継続して収穫するためにはとても大切な作業です。毎日欠かさず行いレモングラスが少しでも良い状態で収穫できるように頑張っていきたいと思います。

◇農家さん講習会

2月26日農家さん向け講習会を開きました。今回は先月の講習会でレモングラスの刈込みを行った場所と行わなかった場所の比較と、農場での灌水方法について農家さんたちに見てもらいました。まず、前回刈込みを行った畑に移動し、刈込んだ場所と刈込んでいない場所を見比べてもらいました。刈込んだ場所は短いながらも新しい葉が出ているのに対し、刈込んでいない場所は葉の半分以上が枯れていることを確認してもらい、乾季の刈込みの有効性を伝えました。次に灌水場所に向かい、農場で行っている穴を開けた塩ビ管を用いた灌水の方法を見てもらいました。1回の灌水で4時間同じ場所で灌水を続けること、そして他の畑とローテーションで灌水場所を移動すること、約1週間に1回の頻度で灌水を行っていることを伝えました。農家さんたちから、水の量が少ししか出ないがよいのか質問があり、水をゆっくり出したほうが土に吸い込まれるため、結果的に水量が少なくてすむことを説明しました。説明後、皆さんから肥料について相談されたので来月は堆肥について講習会を行う予定です。



レモングラスの株と株の間に塩ビ管を敷きます。



塩ビ管の穴から水が出ているか確認中。



講習会に集まった農家の皆さん



講習の内容を真剣に確認中